

首藤 正光



教育問題を問う

質問

新教育長として教育問題についてどう取り組むか。

答弁 教育長

市長のまちづくりの施策は、「生きがいと安らぎを実感できる里づくり」。

「学校教育の充実や生涯学習の推進と人材育成」。

「市民と一体感を高め心豊かで逞しい人づくり、地域づくり」の推進となっています。

私としてはこれらの実現に向けて取り組み、その中で市民や地域の交流を積極的に促進し、友情と連帯の輪を広げていきます。



学校給食共同調理場（三重町）

質問

給食調理場の臨時職員の給与について。

答弁 教育次長

調理のない夏休み期間中の給与については、採用時に説明の上、了解済みです。優秀な人材を必要とする職場ですが、経費節減の折から嘱託職員の雇用が多くなっています。

夏休み中は、研修・研鑽のための出勤機会を作ると共に、より安全で美味しい給食づくりに努力したいと思っています。

委託料は適正か

質問

文化会館（エイトピアおの）の休日夜間の管理は、

答弁 企画部長

入館者の管理及び電話対応、舞台関係打合せ、事務室との連絡業務を行い、土・日・夜間でも快適に利用して頂くために委託契約をしています。

今後は、行政改革の視点から文化会館の管理運営を総合的に検討したいと考えています。



佐藤 徳宣

職員の人事交流

質問

新市の融和を図るため、支所間の人事交流を考えているか。

答弁 総務部長

新庁舎完成までの5年間は、暫定的な本庁方式という形態ですが、佐伯市や竹田市に比べ本庁職員の比率が高くなっています。

850名を超える職員を掌握し、指揮命令系統を明確にしながら政策立案、総合調整機能を十分に発揮すべく、本庁組織を充実させることが住民サービスに繋がると判断しました。

人事配置は、適材適所と言えませんが、市の一体感を得るために来年4月の定期異動では人事交流が必要と考えています。

自治区に
対する市の対応は

質問

自治区の規模と機能に
関する市の考えは。

答弁 総務部長

現在1自治区の平均戸数は約60戸、最大450戸、最小7戸で戸数に格差があります。合併協議では自治



窓口での住民サービス（朝地町）

区の再編は必要に応じて合併後調整することとなっています。

当面は統合の機運が高まっている地域や各自治区の調査を行い、自治委員会連合会と連携を深め、統合を検討していきます。

※その他

「新市発足後の商工会・観光協会の果たす役割」